



暴行事件の犯人を検挙

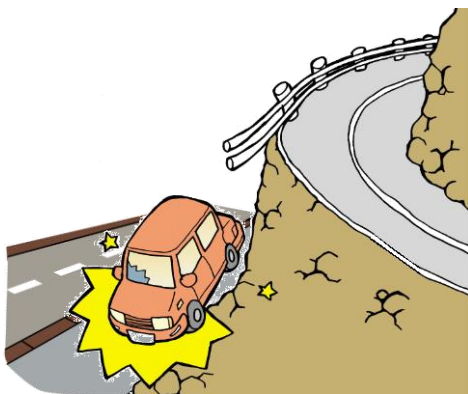
5月17日午前4時10分ころ、吉田西四丁目
で運転代行業者の男性と客の男性のもめ
ごとが発生しました。

酒に酔った客の男性が、もう一方の男性の
顔を殴ったことが判明したため、この50歳代
の男性を暴行事件の犯人として検挙しました。



立屋敷一丁目で転落事故発生

5月27日午前1時ころ、立屋敷一丁目の国道3号線を走行してい
た普通乗用車がハンドル操作を誤り、ガードパイプを突き破って道
路外に逸脱し、数メートル下の側道に転落、横転する交通事故が発
生しました。この事故で、車両を運転していた20歳代の男性と同
乗者の2人がケガをして病院に搬送されました。



夜間は見通しが悪いだけで
なく、スピードを出してい
る車もいるので、車の運転
には細心の注意が必要です。
注意しましょう。



水巻

発行所
水巻交番
折尾警察署
093-691-0110

われらが作る安全の町



折尾警察署
ホームページ



水巻交番管内

5月中事件・事故発生状況
(令和7年5/1～5/20現在)

車上ねらい	0	物件	43
自転車盗	0	人身	8
オートバイ盗	0		
自販機ねらい	0		
侵入盗	0		
その他盗難	0		
性犯罪等	0		



大麻は危険な薬物です

◇ 薬物犯罪の検挙状況 ◇

福岡県警察では、令和6年中、覚醒剤や大麻の所持等で8
55人を検挙しており、その中には、学生や社会人など一般の
人たちが含まれるなど、薬物犯罪が私たちの身近に存在して
います。

◇ 令和6年中の県内検挙人員の内訳 ◇

- ・ 覚醒剤 342人
- ・ 大 麻 466人
- ・ 麻 薬 25人
- ・ 医薬品医療機器法 22人
- ・ 麻薬特例法 30人



◇ 薬物乱用の蔓延

若年層を中心に大麻の検挙者が急増し、昨年的大麻事件
検挙者のうち若年層の割合8割を超えており、蔓延と拡大が
懸念されています。

乱用されるのは、大麻樹脂、花穂及び葉片であり、
主成分のテトラヒドロカンナビノール (THC) が、大麻
の薬理・毒性に起因することが明らかになっています。
また、最近では幻覚成分を濃縮させた「大麻リキッド」
「大麻ワックス」や、大麻を含んだ食品(クッキー、チョコ
レート、グミ)等の摘発も相次いでいます。



【大麻の精神への有害性・依存性】

大麻の成分である「THC(テトラヒドロカンナビノール)」は、脳内
の記憶を司る海馬に影響し、不安やパニック等のほか、精神疾患
を発症させるリスクを上昇させるなど、中枢神経に影響するとされ、
青少年期の乱用は、特に記憶力や精神運動能力の低下等の影響
を受けやすいとされています。

大麻の乱用により、いらだち、不安、不眠、うつ等の禁断症状が
出現して、依存症になるおそれもあり、青少年期の乱用は更にリス
クが高いとされています。